

2023年9月1日

9月1日は、関東大震災から100年目の「防災の日」
改めて防災を考える『街を、家でまもろう。』を提唱
～ 東京都品川区 戸越銀座商店街と連携取組みを展開中 ～

パナソニックホームズ株式会社は、このたび、関東大震災から100年目を迎える9月1日「防災の日」を機に、同日から、改めて防災を考えるメッセージ『街を、家でまもろう。』の提唱をスタートしました。災害時に被災規模が大きくなりやすい木造住宅密集地域（木密地域）^{※1}がある東京都品川区 戸越銀座商店街との防災連携取組みを通じて、住まいと街の防災について広く情報発信を展開していきます。



戸越銀座商店街におけるメッセージ掲出例

100年前の1923年9月1日に発生した関東大震災の死者・行方不明者は10万5千人余り。主たる死因は、住宅の全壊による圧死を遥かに凌ぎ、約87%が火災（強風による大規模な延焼火災）による焼死でした^{※2}。自然災害史上最悪となる同震災の惨禍を踏まえ、現代においては、耐震・耐火はもちろん、被災後の生活維持も含めた住宅の防災持続力が強く求められています。

当社は、かねてより、「災害時に家が倒れない、被災しても自宅で最低限の生活を維持できる“家”は重要な防災対策」の提供価値に基づき、『毎日と、万一の安心がつづく「大丈夫」と言える住まい』の提案を推進しています。これは、1995年以降3度起きた最大震度7の大地震において被災した当社の住宅17万7,177棟のうち倒壊が0棟である実績^{※3}や、実大住宅での振動実験で証明された高い耐震性能に基づくものです。

また、東京都は「燃えない、倒れないまちづくり」の防災政策を推進しています。当社はこれまで、同政策や地域社会が求める安全・安心の期待に応えるべく、戸越銀座商店街との防災連携により、木密地域における建て替え促進で「災害に強いまち」を目指す取り組みを展開してきました。

このたび提唱する『街を、家でまもろう。』は、「災害に強いまち」の実現を強く働きかける戸越銀座商店街と当社の共通メッセージとして掲げるものです。同メッセージの下、当社は、戸越銀座商店街および近隣にお住まいの方、ご来客の方々等に向け、「命と暮らしを守る“防災持続力のある家”を拡げることが、倒れない街につながる。」の啓発と、地域共創の活力高揚を図っていくとともに、都市部にいまだ多数点在する木密地域をはじめとする街の防災力向上を目指していきます。

当社は、9月1日から戸越銀座商店街で、「住まいのよろず相談所」を開設し、防災に関する助言をはじめ、住まいと暮らしに関するさまざまなご相談を受け付けるなど、地域共創の取組みの主拠点としていきます。また、同相談所では、お子様を対象に防災に関するオリジナル絵本を配布するなど、幅広い層に向け取組みについて告知を図っていきます。

なお、同商店街では、アーチや街路灯の各所に『街を、家でまもろう。』のバナーやフラッグを掲出し、街ぐるみで取組みの盛り上げを図っていきます。



住まいのよろず相談所

当社はこのほか、客観調査の結果公表や有識者による意見、啓発動画の発信などについて、広報発信をはじめ、マスコミ宣伝やWEB、住宅展示場における演出や営業トークに至るまで、統合的に重要性を訴求していくことで、住まいの防災の重要性について広く理解を得るコミュニケーション活動を展開しています。

■ 『街を、家でまもろう。』 主な取組み概要

① 東京都品川区 戸越銀座商店街

木密地域であり、不燃化推進特定整備地区^{※4}にも指定されている戸越銀座商店街連合会と連携し、「災害に強い街づくり」の実現に向けた取組みを行っています。

● パナソニック ホームズ「住まいのよろず相談所」の開設

場 所： 戸越銀座商店街(中央街)

期 間： 2023年9月1日(金)～30日(土)

内 容： ・住まいと暮らしに関するさまざまな相談を受付けます。

・来場者のお子様へ、防災について啓発するオリジナル絵本「4ひきのこぶた」をプレゼントします。

当絵本は、4ひきのこぶたの兄弟の末っ子が、お兄さんたちの家を巡りながら、「家族を守るための家づくり」について考えるオリジナルのストーリーで、お子様にもわかりやすく、「災害に強い家」について学んでいただける内容です。

表紙は、戸越銀座商店街のイラストが入った特別版となっています。



「4ひきのこぶた」

- 『街を、家でまもろう。』 バナー・フラッグの掲出
場 所 : アーチ 10 カ所・街路灯 120 カ所
期 間 : 2023 年 9 月 1 日(金)~30 日(土)
- 9 月 24 日(日)戸越銀座まちなか防災訓練への協賛
日 時 : 9 月 24 日(日) 14:00~18:00
場 所 : 戸越銀座商店街
主な内容 : ・放水体験、AED 体験、防災ホッケー体験 ほか
・防災紙芝居、「地震に強い家」作品の作成と展示 ほか
・被災地向け募金
・備蓄食販売 ほか
主 催 : 戸越銀座商店街連合会
協 賛 : パナソニック ホームズ株式会社 東京支社
後 援 : 品川区・品川区商店街連合会

● 戸越銀座商店街 関係者コメント

・戸越銀座商店街連合会 会長 山村 俊雄 様

木密地域に指定されている戸越銀座商店街にとって、『街を、家でまもろう。』の取り組みはもちろん、これまでパナソニック ホームズさんと長い間取り組んできた活動は、地域の防災意識向上に非常に意味がある活動です。地道な活動を通じて住民の防災意識も高まっていると感じています。

・品川区商店街連合会 会長 / 品川区商店街振興組合連合会 理事長
戸越銀座商店街連合会 広報担当 亀井 哲郎 様

全国で、さまざまな商店街が難しい立ち位置にあります。戸越銀座商店街は、どうすれば地域住民や商店街の皆さんに貢献できるかが重要だと考えており、企業との連携も有効な手法だと認識しています。防災のプロとしてパナソニック ホームズさんと一緒に戸越銀座を盛り上げ、地域貢献してくれることは商店街振興の視点においても非常に意味があることと感じています。

③ 東京都品川区・大田区 地域情報誌への広告掲載による防災取り組みの告知

- 誌 名 : 月刊おとなりさん
- 体 裁 : A5 判・カラー・72 ページ
- 発 行 : 月刊(毎月 25 日発行)
- 部 数 : 23,000 部
- 配布エリア :
・「おとなりさん」会員店ご利用のお客様に無料配布
・大田区・品川区の公共施設で無料配布
- 広告掲載 : 9 月号(8 月 25 日発行)



表紙



裏表紙 広告

「月刊おとなりさん」

- ④ 国土舘大学防災・救急救助総合研究所 小滝 晃 客員教授へのインタビュー動画公開
国土舘大学防災・救急救助総合研究所客員教授で元内閣府（防災担当）総括参事官の小滝 晃氏に「木造密集地域の住宅に求められる性能」について伺い、住まいにおける防災対策の重要性について、有識者の立場からご意見をいただいています。

＜小滝 晃氏コメント抜粋＞

——木造密集地域の住宅に求められる性能とは？

災害時に燃えないということ、そして倒壊せず小規模の被害で済む強度が必要です。
木造密集地域の住宅には特にこれらの性能が求められます。

——災害に強い街づくりに必要な住宅の性能はなんですか？

減災を目指していくには、住宅の耐火性、耐震性の向上は有効です。強い住宅が増えていくことで、その地域が災害に強い街になっていきます。

- 動画:いま改めて考える防災対策(2)『木造密集地域の住宅に求められる性能について』(295 秒)
https://youtu.be/8j5g9LgH_wc

◎『毎日と、万一の安心がつづく「大丈夫」と言える住まいを。』特設サイトでは、パナソニック ホームズの「災害に強い家」の特長や実際に災害を経験されたオーナーさまのインタビュー動画などをご紹介しています。

『毎日と、万一の安心がつづく「大丈夫」と言える住まいを。』特設サイトはこちら

https://homes.panasonic.com/ad_lp/daijyoubu/

- ※1: 山手線外周部を中心に広範に分布し、東京都は、2012 年から不燃化を強力に推進する「木密地域不燃化 10 年プロジェクト」を推進し、対策エリアに不燃化特区を指定の上、市街地整備を促進している。道路の拡幅整備や不燃化建て替えの協力者に対し、老朽建物の除却、新規建物の設計・建築費の助成、減税を行っています。
- ※2: 国土交通省「平成22年度国土交通白書」より
- ※3: 最大震度 7（マグニチュード 7.0 以上）を記録した阪神・淡路大震災と、東日本大震災、熊本地震で被災した当社住宅の対象棟数の総数 177,177 棟のうち倒壊した住宅は 0 棟（当社調べ）。
- ※4: 首都直下地震が発生した場合に地震火災など大きな被害が想定される木造密集住宅地域のうち、特に重点的・集中的に改善を図る地区を指定し、都と区が連携して不燃化を強力に推進して「燃え広がらない・燃えない」まちづくりを進める制度。

素材ダウンロード URL(共通パスワード: phsbousai)

画像素材 : <https://bit.ly/3YOaeXo>

■ 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 ■

「パナソニックホームズ」PR 事務局(株式会社マテリアル)

TEL: 06-6456-4960 FAX: 06-6456-4961 E-mail: osaka@materialpr.jp

担当: 植本(090-4433-2868)、三木(070-3874-4269)



パナソニック ホームズは 2023 年に創業 60 周年を迎えます。これまでの「感謝」を新たな「挑戦」への力に変えて、暮らしを起点に事業活動を拡げます。

お客さま一人ひとりに寄り添い、心豊かな暮らしと持続可能な社会の実現を目指し、邁進してまいります。